

シリーズ

中央アルプス最南端に広がる天然林

恵那山 生物群集保護林

設定目的

恵那山(二、一九一㊦)の上部にはシラビソ等の亜高山帯針葉樹の群落があり、林床の一部には希少種であるオサバグサが生育しています。

これら山地帯上部から亜高山帯までの植物群落を一体的に保護・管理しています。

地況・林況

恵那山は、長野・岐阜県境に位置し、中央アルプス(木曾山脈)の最南端とされている山です。気候は太平洋側気候に属しており、地質は中・古生層及び濃飛流紋岩類が分布しています。

また、岐阜県恵那地方と愛知県北東部、長野県の一部にまたがる美濃三河高原のうち、恵那山地に細分される大起伏山地の一端で、恵那山はこの高原の最高峰となっています。

所在地
岐阜県 中津川市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。



※詳細は、コードを読み込んでください。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612